

水稲直播栽培特報 (湛水直播)

(第1号)

平成28年5月
富山農林振興センター
あおば農業協同組合

～カルバー直播栽培の安定は出芽・苗立ちの確保から～

播種～苗立ちまでのポイント(コシヒカリを中心に)

- ① 播種深度は5～10mmとし、40～80本/m²程度の適正苗立本数を確保
- ② 土壌条件に応じた基肥基準量の厳守(移植栽培より1割程度減肥)
- ③ ほ場条件、播種様式に応じた的確な田干しの実施(苗立ちの安定化)

ほ場の準備

(1) 耕起～代かき

- ほ場の均平が悪いと播種ムラや出芽ムラが発生しやすくなります。耕起から砕土・整地の作業は移植より丁寧に行いましょう。
- 代かきは少なめの水で、稲株や雑草等をしつかりとすき込みましょう。また、ねり過ぎに注意し、播種作業に適した硬さに仕上げましょう。

●代かきから播種までの日数は、砂壤土や壤土で2～3日、植壤土で4～5日を目安にしましょう。

(2) 基肥の施用(コシヒカリ)

基肥は、チッソ成分で移植栽培の1割程度の減肥を目安に施用し、倒伏防止に努めましょう。

土質	一発(L.D.S直播コシヒカリ施用の場合)		分施 チッソ成分 kg/10a
	チッソ成分 kg/10a	施用量 kg/10a	
砂壤土	6.8程度	3.2～3.4	3.5
壤質土	6.0程度	2.5～3.0	3.0
粘質土～半溜田	5.5程度	2.5程度	2.5

※大豆跡田では、倒伏の危険性が高いことから、施肥量を減らしてください。

播種

●播種の適期は4月25日～5月10日頃です。播種期は乾期で

2.5～2.8kg/10a程度にしましょう。

●播種前の落水は、播種作業が午前中の場合には前日の夕方、午後の場合には当日の早朝を目安とし、土壌条件に応じて行いましょう。

●確実に覆土(5～10mm)の播種深度を確保)されていることを確認するとともに、播種作業中も種子や肥料の落下量をチェックしましょう。

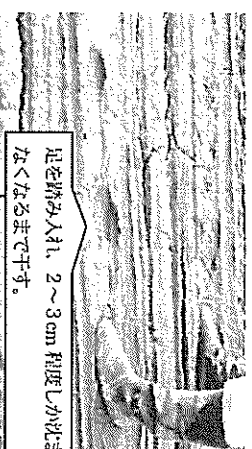


図1 播種後の適度な田干しの状況

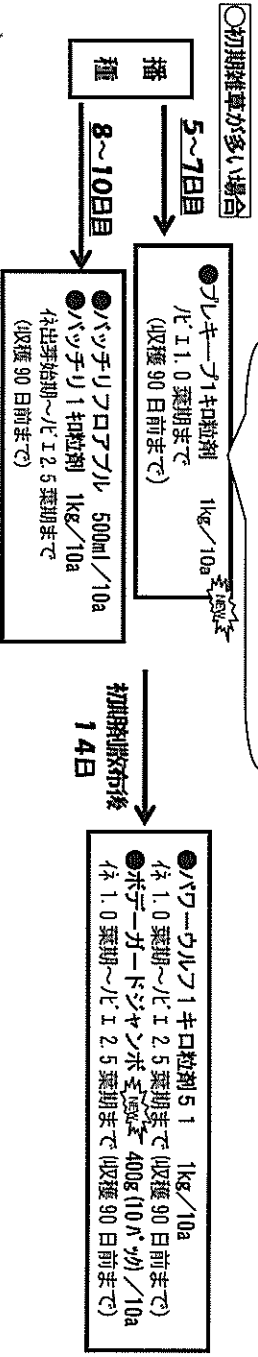
播種後の水管理

●播種後の田干しを効果的に行うため、播種同時作溝や、播種後に排水溝を掘るなど、迅速な表面排水に努めましょう。

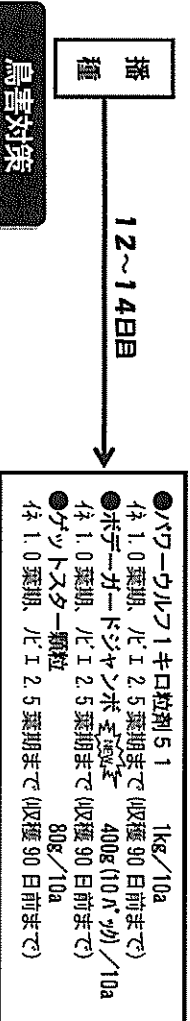
●ほ場の透水性に依り、土壌表面に亀裂が入り渡るまで5～7日程度の田干しを行います。また、強風が吹くなど荒天の場合には、乾きすぎにも注意しましょう。

除草剤の散布

散布が遅れないように注意!!
(入水後、水が落ち着いたら直ちに散布)



○初期雑草が少ない場合



鳥害対策

播種深度が浅く、種粉が露出すると、カラスやスズメの食害が発生するので、注意してください。

●カモ：ほ場内に糸やテープ等を張る侵入を防ぐください。カモが侵入した場合は、直ちに落水し被害を最小限に抑えてください。

●スズメ：播種後、種粉が露出して見える場合は一度入水し覆土する。スズメが侵入した場合は、速やかに入水してください。

●カラス：カラスの飛来が懸念されるほ場では、播種後、ほ場内や周辺に水糸を張り、飛来防止に努めてください。

次号の、播種後の本田管理、除草剤等については、5月中旬の発行を予定しています。